

## 北海道で生まれた全国注目の「呼吸する換気口」

# 取り付けだけで通年ゼロエネルギー自然換気 CO2も下げコロナ感染対策にも有効

長引く新型コロナウイルス

との戦いにおいて、絶えず重要な指摘されている換気。

現在はおもっぱら定期的に窓を開けての空気の入れ替えが求められているが、寒冷地の北海道においてはなかなかの難題。もとい北海道に限らずとも、窓を閉じたままに空気の入れ替えが行なわれると

というのが理想だろう。

それを換気口で実現すると

というのが、(有)グッドマン(本社札幌市)が手掛ける「グッドマン換気口」だ。実は同品15年前から発売されている。

「呼吸する換気口」がキャッチコピーの同品。その名の通りこの換気口を設置するだけで、外から新しい空気を取り込みつつ、煙突効果で室内上部の空気をこもらせることなく排出する。これは自然吸排気の

ため、外部動力を用いないゼロエネルギーだ。

ただ「換気口から外気の寒さも入ってくるのでは」という不安があるかもしれない。こうした冷気流入をダウンドラフトと呼ぶが、過去に北海道立総合研究機構・北方建築総合研究所が「グッドマン換気口」と、通常の換気口とで

ダウンドラフトの発生状況を調査。その報告書で「グッドマン換気口」は通常換気口より、冷気の流入が非常に少ないことが示されている。

そんな「グッドマン換気口」だが、元々は結露対策を目的に開発された。前述した常時自然の力で温度差換気が行なわれることで結露発生が大幅に抑えられ、それ由来のカビの発生も抑制できる。以前「グッドマン換気口」取付後の結露状況について利用者アンケートをしたところ、非常に

良かった・良かったの回答が約85%を占め、悪くなった、の回答はゼロだったという(ほかは、変わらない、の回答)。

新規導入された実績もある。

また平成24年度に札幌経済産業局「省エネルギー大賞」受賞。同25年度に第10回エコプロダクツ大賞奨励賞。同29年度発明協会会長賞。令和4年度は北のブランド2022金賞と、受賞歴も数多い。

そんな「グッドマン換気口」の詳細はグッドマン、もしくは製造・販売を担う(株)日浦に問い合わせしてほしい。



写真は最も一般的な GMS - 100(丸形)の「グッドマン換気口」(1基税別 16,800円、設置工費は別途)



本社事務所もあるグッドマン・ショールーム



クラスター対策を前面に打ち出した特設サイトのQRコード

現在当社では、同換気口のクラスター対策における有効性を強くアピールしており、QRコード検索でスマホでも見られる特設サイトを開設した。これまで述べた通り、常時自然換気できるという特長

札幌市中央区南4条西14丁目1-24  
 ☎011・563・0744  
<http://www.kankiko.com>  
 ■(株)日浦 札幌市白石区本通7丁目南7-25  
 ☎011・864・0177